

けいはんな乗り物フェアについて

3月15日（土）に、けいはんな学研都市（京都府域）地域公共交通協議会が主催する「けいはんな乗り物フェア」に出展しました。以下、実施結果の報告となります。

I. 出展団体

- 西日本旅客鉄道株式会社
- 近畿日本鉄道株式会社
- 京阪バス株式会社
- 奈良交通株式会社
- 近鉄車両エンジニアリング株式会社
- 精華町鉄道ジオラマ同好会
- 地元商工業者
- 舞夢プロ（斉藤雪乃・出世風沙（MC））
- 精華くるりんバス（精華町事業部都市整備課）
- WE ラブ赤ちゃんプロジェクトキャラバン隊（京都府山城広域振興局）
- きのつバス（木津川市企画戦略部学研企画課）

II. 開催目的

1. 公共交通整備に向けた利用促進

けいはんな学研都市（京都府域）に関係する交通事業者の参画を得て、各社が提供している公共交通サービスの展示を行い、公共交通の魅力や重要性を訴求し、けいはんな学研都市（京都府域）における公共交通の利用促進を図り、さらなる公共交通整備の促進を図ります。

2. 公共交通ファンの支持獲得

けいはんな学研都市（京都府域）に関係する公共交通関係の展示や物販、鉄道タレント招致等により、関西一円の公共交通ファンを集客することにより、けいはんな学研都市（京都府域）における公共交通整備に対する支持拡大と情報拡散を図ります。

3. 公共交通従事を志望する人材獲得

けいはんな学研都市（京都府域）に在住する子どもや若者の集客を通じて、公共交通の魅力や重要性、公共交通事業者の誇りや働き甲斐を訴求するとともに、公共交通従事者への憧れを誘い、公共交通従事者を志望する人材確保に繋がります。

Ⅲ. 実施実績

木津川市（きのつバス）の出展したブースでは、約200人の方にクイズに参加していただき、オリジナルステッカーを配布し、バスの利用促進を図りました。

全体来場者数：約2,050人（うち、子ども800人超）

木津川市ブース来場者数：198人

（クイズ参加者数）

【概要】

Q、昨年度、木津川市がバス運行のため負担した金額は1億円以上である。

A、○ 昨年度の負担額は約1.2億円

（正解：164人、不正解34人）

